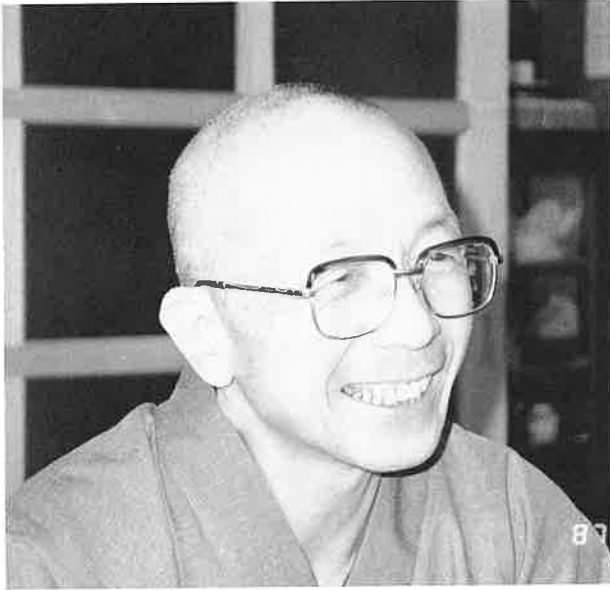


インド留学のころ



早稲田大学教授

高崎 直道

本誌前号で中村先生が私のインド留学当時のことを述べられ、いささか過分のお賞めに預つて恐縮していたところ、今回さらに留学体験について本誌へ寄稿の御依頼を頂戴した。今さら昔話で恥さらしでもあるまいと躊躇したが、何ほどか後輩の皆様の参考になることがあればと思ひ直して、お引受けすることとした。

私の留学体験は昭和二十九年七月にはじまる。第四回のインド政府給費留学生三名のひとりに選ばれたわけだが、覚束ない英語で大使館の口

述試問を受けたのに合格出来たのはひとえに中村先生の御推挙のおかげと思っている。サンフランシスコ講和条約発効後、間もない頃で外国留学はまだ物珍しかったせいか、ジャパンタイムスが報道してくれたり、神戸から乗船するため東京を発つ時、印哲研究室総出のお見送りをうけ、花山先生が駅頭で万歳三唱の音頭をとられて、恐縮したのを覚えている。神戸からの船旅二十四日間は、はじめての外国人との間の生活に慣れるのに大いに役立った。

留学先はボンベイ州のプーナで、そこにある、インド学で世界的に有名なバンダルカル東洋研究所のゲストハウスに住むこととなった。留学先についての情報は中村先生が学会誌（『印度仏教学研究』）に毎号書いて下さっていたのによったわけだが、伝統ある研究所であること、優れた仏教学者、ババット、ゴーカレー両先生のおられること、場所がデカン高原で比較的涼

しく、静かな環境であることなどで、勝手にひとりできめてしまい、中村先生にゴーカレー先生への紹介状を書いて頂いたり、今考えると随分あつかましいお願いをしたものである。

プーナには当時、龍谷大学の木村秀雄先生（故人）と、京大出身の大地原豊さん（京大名誉教授）が滞在しておられた。お年寄り（といっても当時五十才ぐらい）の木村先生はさておき、世代の同じ大地原さんとの出会いは私にとって運命的とも言うべきもので、以後の長いおつき合いで私には目に見えないところで多くの恩恵を蒙っている。ゴーカレー先生はインド人、優れた温厚篤実な学者でその下で以後二年半勉強出来たことが、私の今日ある最大の理由と言つてよい。またプーナにいたお蔭で、内外の有名学者にお会い出来る機会が多かった。そのひとりローマの中極東研究所（イズメオ）のツツチ先生は其後、私のph論文の審査員をひきうけて

下さり、さらに論文を光栄あるイズメオのシリ
ーズに加えて下さった。これはすべてゴーカレ
ー先生の御推挙による。

留学中一番大事なことは所期の目的たる研究
の遂行にあることは言うまでもないが、そのた
めには毎日の生活が楽しく張りのあることが大
事だし、また適宜の休養や娯楽が必要である。

私の留学中最初に訪れた危機は、一月ほど大
地原さんと一緒だった後、かれの帰国を送りが
てら、アジャンタ、エローラの見物に出かけ、
ジャルガオンの駅で東西に別れてプーナに帰っ
て来た直後に強烈なホームシックに襲われたこ
とであった。その克服に私の編み出したのが、
日曜日は徹底して勉強を休み、すきなことをし
て時間を過すということであった。その手始め
——これは好きなことと言うより、気を紛らす
ためと言うべきだが——部屋の窓のカーテン作
りだった。町でカデイー（手織り）の花柄プリ

ントの安綿布を買って来て上下を縫い込み、紐
をとおして引けるようにした。この手仕事で一
日つぶして大いに満足したら、ホームシックが
消えてしまった。

大ていの日曜日は自転車で走り廻るか、留学
生仲間を訪ねる。月に一回ボンベイに出て英気
を養い時には領事館などのお世話になって日本
食を御馳走になる。機会を作ってはインド国内
の旅行に出かける。こうして、二年半のインド
生活を私なりにエンジョイした。幸い健康で、
カシユミールで痔主となつた以外、下痢ひとつ
しなかった。自転車旅行の際井戸水など平気で
飲んだりしたのである。帰国したあと、皆から
お前は極めてインド向きに出来ていると冷かさ
れた。

難儀なことにも色々ぶつかった筈だが、もう
忘れてしまった。旅は無事済めば楽しいと思ひ出
だけが残るものである。留学生活もそれと同じ



ことか、恐らく人生もまたその通りかも知れない。

（右ではお金のことを述べる余地がなかったが、当時は日本から正規の送金は一切認められておらず、われ／＼留学生はそれぞれに、方途を講じて、奨学金以外の金の入手につとめた。大ていは、インド駐在の商社員の留守宅に円貨を払い込み、商社又は駐在員からその月給の一部をインド・ルピーで受取るという方法である。それによって私は大たい月平均奨学金と同額のルピー貨（二〇〇ルピー）を得て、以て書籍入購と旅行費に充てることが出来た。これは多分、当時としては優雅な暮らしの部類に入ったことであろう。

イラストは「暮れゆくデカン高原」